

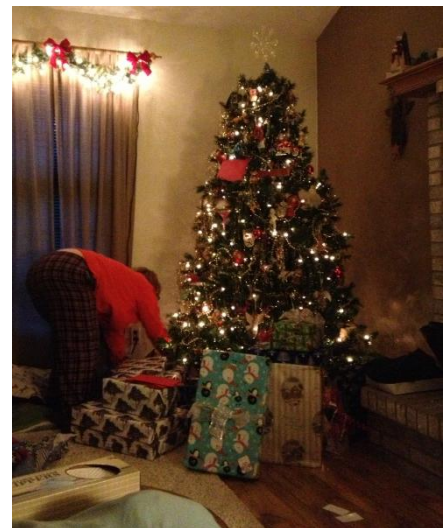
オハイオ州フィンドレー大学奨学生レポート

「冬休み」

こんにちは。ついに2012年が終わり、2013年が始まりました。私にとっての2012年は留学の年でした。実際に留学生活が始まったのは8月からでしたが、奨学生になることが決定した2月はじめからの約一年間、留学に関することが頭から離れることはありませんでした。なので、やはり私にとって2012年は留学の年。2013年、残りの留学生生活を満喫し、自分への布石にしたいと思います。

12月の1番の思い出は、冬休みです。学期末テスト後から1月6日まで、約3週間が冬休み期間でした。私はバンクーバー(カナダ)、シカゴ、ニューヨークへ行ってきました。バンクーバーは友人宅にホームステイ、シカゴはThanksgivingでもお世話になったルームメイトのお宅へホームステイ、ニューヨークはフィンドレー大学の日本人の友人と旅行しました。すべてが楽しく刺激的な毎日でした。

Halloween、Thanksgivingに続くアメリカの三大イベントChristmasはシカゴで過ごしました。Thanksgivingと同様にルームメイトの親戚一同で集まるパーティが今回もありました(ちなみに、今回は2回ありました)。みなさんが、私のことを覚えていてくださり、かわいがってくださったのが本当に嬉しかったです。なにより嬉しかったことは、「奈帆美はもう、私たちの家族だね。いつでも帰ってきなさい」「新しい妹ができたわー」と、言ってくれたこと。ずうずうしいですが・・・絶対にもう一



ツリーとプレゼントの山

回会う！と心に決めました。大きなクリスマスツリーの下には溢れるほどのプレゼント、とっても豪華なクリスマスディナー・・・絵本の中にいるような気持ちでした。

アメリカ人は家族でクリスマスを過ごしますが、年越しは友人たちと過ごすそうです。私は、同じ家に住んでいる日本人とニューヨークのTimes Squareで年を越しました。気温がマイナスの中、約10時間の待ち時間は本当に、大変でした。が、念願が叶い嬉しかったです。

この冬休みを通し、なんで英語が好きなのか、どうして留学をしているのかを再確認できたような気がします。学期中よりも、多くの方と出会うことができたことが、そのように感じたきっかけでした。普段会うことができるのは、友人を含む学生と先生たち、頑張ってボランティア先の人たちです。狭く深くの人間関係でした。一方、休みの期間中はきっともう二度と会うことはない人たちとの一期一会、広く浅く。残念ながら全ての英語を理解できたわけではありません。しかし、会話して話が成り立つときの喜び、話がはずんだときの喜びが、自分の英語を学びたいというエネルギーになるのだと再認識しました。もっと努力をすれば一期一会でも、もう少し深く関わるのが可能だと感じました。

冬休みを思いっきり楽しんだ分、春学期も頑張ります！



Happy New Year 2013



NYでは美術館めぐりなどをしました